

【有意義だった南郷大島ミュージアム】

来年実施予定の「国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭りやざき大会」の先駆けプログラムである「南郷大島ミュージアム」に全校生徒で行ってきました。

肌寒い日でしたが、生徒たちは大自然や素晴らしいアート作品を十分に満喫していました。昼食は自分で作ってきた弁当を美味しく食べていました。縦割りの3～4人のグループで、チェックポイントを探しながらゲーム感覚でいろいろ相談し、走破しました。どのグループも先輩が後輩をうまくリードして活動していました。また、各学年の発表では練習の成果が見られ、なかなかの出来栄でした。

南郷大島の資源や魅力がさらに多くの人に認知されるといいなと思いました。

先輩と話す機会ができてとても楽しかった。先輩の意外な一面も見られた気がした。先輩たちがリードしてくれてとても過ごしやすいと感じ、楽しかった。班のみんなと自然から学ぶことができた。

今回のメンバーはとても元気が良く、協力性にあふれたグループでした。みんなで役割分担をして、互いが支え合って難問を突破できました。みんなの疲れ具合を確認しながらリーダーとして引っ張っていったと思います。自然の美しさを満喫し、共有できたことが良かったです。初めての大島でしたが最高の1日になりました。



【いつも いつも ありがとうございます！】

登校、そして下校時に毎日生徒たちを見守っていただいている、大堂津駐在所勤務の廣島巡査長。雨の日も寒風の日も、交差点で生徒たちを見守りながら、信号待ちの時は優しく話しかけてくれます。

部活動で帰宅する生徒を最後まで見届けて帰れる姿には、職員一同、感謝しかありません。

「部活帰りに、廣島さんが見えるとほっとします」と生徒たちも心から感謝しています。



【人権と平和について考える週間】

12月4日から「人権と平和について考える週間」として様々な取組を行ないました。県から出された「新型コロナウィルスに感染された人々への思いやりを！」を読んだ感想文や生徒による自己評価、学級活動などを実施しました。

また、人権集会においては、生徒会を中心に「誉め言葉のシャワー」という異学年でグループを作り、付箋に書いたメンバーへの褒め言葉を色紙に貼って互いにプレゼントしました。もらった生徒も渡した生徒もとても嬉しそうでした。



【一年を振り返る 今年の漢字】

今年もあと10日を切りました。先日京都市の清水寺で、日本漢字能力検定協会から今年一年の世相を表す漢字「密」が発表されました。

年末は何かと慌ただしい時期ですが、一年を振り返る大切な節目のときでもあります。みなさんにとって「今年の漢字」はどんな文字でしたか。

細田中学校の今年一年を振り返ると、新型コロナウィルス対策で思うような学校生活を送れない時期もありました。しかし、3年生を中心とした体育大会や合唱・合奏発表などの学校行事、ソフトテニス競技や陸上競技での活躍、毎日のボランティア活動、ピブリオバトルへの取組など文武に渡ってしなやかに困難に立ち向かっていく生徒とそれをサポートする職員の姿がありました。その頑張りを讃えて、今年の漢字は自信をもって「克」としたいと思います。さあ、それぞれが1年を振り返り来年の「丑年」（うしどし）も充実した一年にしていきましょう。

克